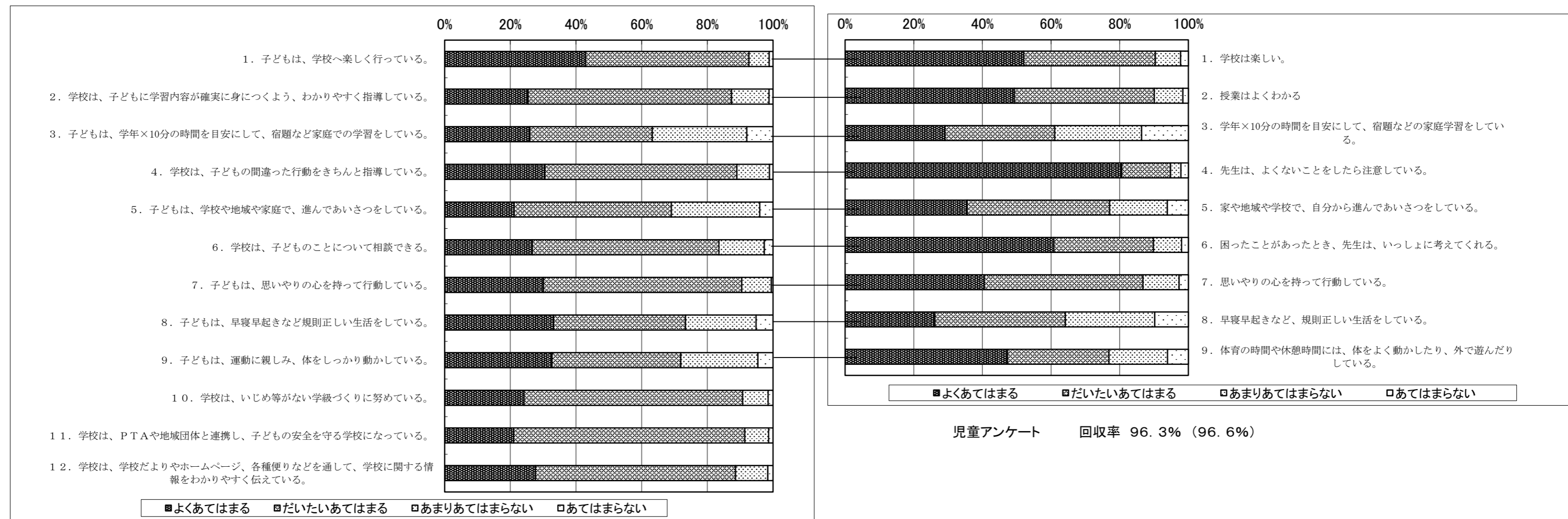


令和3年度 保護者・児童アンケート集計結果

令和3年11月12日～11月22日実施

昨年の11月にはアンケートに協力頂きありがとうございました。アンケートの結果については、児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的評価と捉えて結果についてまとめています。保護者アンケートの項目と対応する児童アンケートの項目には ―――― を結んでいます。



児童アンケート 回収率 96.3% (96.6%)

保護者アンケート 回収率 86.3%(昨年度87.3%)

<結果のまとめ>

◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が特に多かったのは、「1. 子どもは学校へ楽しく行っている。」で92.7% (昨年度92.2%)でした。これに対応する児童アンケート「1. 学校は楽しい」の肯定的評価の割合も多く、90.4% (昨年度93.0%)となりました。また、次いで多かったのは、「11. 学校は、PTAや地域団体と連携し、子どもの安全を守る学校になっている。」91.4% (昨年度89.1%)でした。

◆保護者アンケートの中で肯定的評価が特に低かったのは、「3. 子どもは、学年×10分の時間を目安にして、宿題など家庭での学習をしている。」で63.2% (昨年度62.9%)です。一方、児童アンケートの「3. 学年×10分の時間をめやすにして、宿題などの家庭学習をしている。」は61.1% (昨年度68.3%)でした。学習指導要領では、「主体的に学習に取り組む態度」として、自分で学びを調整する力が大切だとされています。本校においても従来の宿題を振り返り、これから必要とされる宿題の在り方(宿題は何のためにするものなのか。どんな力を育むべきものなのか。等)について、時間をかけて再検討しているところです。そして、児童個別の課題や興味関心に応じて学びを選んだり変えたりできるような「これからの唐崎小学校の家庭学習」について、学年の発達段階も踏まえながら、少しずつ試しているところです。

◆2番目に低かったのは、「5. 子どもは、学校や地域や家庭で、進んであいさつしている」で69.1% (昨年度66.6%)でした。対応する児童アンケート「5. 家や地域や学校で、自分から進んであいさつをしている」は77.1% (昨年度78.0%)でした。校内では、11月に生活委員会の児童が校門で「朝のあいさつ運動」をしました。児童が主体となって、あいさつをする雰囲気を広めました。

◆保護者アンケート「子どもは、思いやりの心を持って行動している」90.5% (昨年度91.2%)、児童アンケート「思いやりの心を持って行動している」86.8% (昨年度89.5%)でした。このことに関わる取組として、児童会で友達の良いところを見つけよう(みんな笑顔で過ごせる学校に)をテーマに「ほっとハートプロジェクト」を11月に実施しました。この活動は、各委員会が全校児童が自主的に「自分も周りの人も大切に」しようとする取組を考えて実施したものです。各委員会では、心が温まるエピソードの紹介、標語やポスターの掲示、あいさつなどの取組が行われました。コロナ禍のため制約の多い中ですが、テーマに向かって主体的に活動する中で、できるかぎり人と人とのつながりの良さを感じられるように心がけたところです。

◆学力向上については、保護者アンケート「2. 学校は、子どもの学習内容が身につくよう、わかりやすく指導している。」は、87.4% (昨年度87.6%)でした。一方、児童アンケート「2. 授業はよくわかる」は、90.1% (昨年度93.1%)でした。コロナ禍のため、ペアやグループでの交流する場を積極的に授業に取り入れにくい状況が続いています。しかしながら、課題を解決する過程を大切にすること、主体的に学習に取り組む態度を育むこと、ICTの効果的な活用など、新学習指導要領の趣旨に応じた授業改善に引き続き努めていきたいと考えています。

◆体力向上については、保護者アンケート「9. 子どもは、運動に親しみ、体をよく動かしている。」の項目で71.9% (昨年度73.9%)、児童アンケート「9. 体育の時間や休憩時間には、体をよく動かしたり、外で遊んだりしている。」の項目で76.9% (昨年度77.8%)という結果でした。本校では、家庭学習のひとつに「体育の宿題」を位置づけて体力向上に取り組んでいるところです。また、学期ごとに短距離走、なわとび、長距離走とテーマを設けて体力向上を図っています。

◆保護者アンケートの「10. 学校は、いじめ等がない学級づくりに努めている」は、90.8% (昨年度89.0%)でした。ここ数年、高い割合を維持しています。いじめの捉え方は近年大きく変わり、本校でも積極的に対応してきているところです。今後も学校と家庭で連絡を取り合いながら、いじめに向き合っていきたいと考えています。

◆保護者アンケート「8. 子どもは、早寝早起きなど規則正しい生活をしている。」の項目は73.3% (昨年度77.6%)であったのに対し、児童アンケート「8. 早寝早起きなど、規則正しい生活をしている。」の項目は64.2% (昨年度70.9%)という結果でした。学年別に見た場合、高学年になるにつれて基本的な生活習慣が乱れる傾向が見られます。全国的な調査から、基本的な生活習慣と学習意欲は関わりがあるとされています。今後も家庭や各校園と連携しながら、取組を進めていきたいと思ひます。

※保護者および児童アンケートの結果を活用した自己評価と改善策等につきましては、「令和3年度 唐崎小学校学校評価書」をご覧ください。